

■ シティホールプラザ「アオーレ長岡」について

JR長岡駅前の旧長岡市厚生会館及び周辺の公園等を含めた約1.5haの区域に、厚生会館機能を受け継ぐ“アリーナ”と、様々な活動ができる“ナカドマ(屋根付き広場)”,そして“市役所本庁舎機能”を一体的に配置した全国初の複合型施設としてこの中心市街地再生整備の核を成す「アオーレ長岡」をご紹介します。

【アオーレ長岡の施設概要】



構造:鉄筋コンクリート造,一部鉄骨造
階数:地上4階(最高高さ21.4m),地下1階
敷地面積:14,938.81㎡
建築面積:12,066.08㎡
延床面積:35,485.08㎡
駐車場:103台収容(障害者用7台を含む)
総事業費:137億円

【ナカドマ】



アオーレ長岡の大きな特徴として「ナカドマ(屋根付き広場)」という広く開放的で出入り自由な外なる内空間が設けられています。このナカドマは、3つの建物に囲まれ

たアオーレ長岡の中心で、集い、語り合い、様々な活動ができる自由空間となっていて、屋根が付いているので天候を気にすることなく、誰もが気軽に立ち寄り、憩い集うことができるようなスペースです。まさしく「ハレの場」に相応しいという印象で、ミニライブ、展示会、結婚式など自由な発想で様々な使用ができるほか、このナカドマには300インチの大型ビジョンが設置されており、市政・観光情報など様々な情報を発信し、館内ライブ中継やパブリックビューイングも開催されています。

【アリーナ】



アリーナは、最大約5,000人を収容でき、スポーツ、コンサート、物産展などの大規模なイベントが開催されています。更に、ナカドマに面する大開口扉を開くと、ナカドマと共有できる巨大空間となり、利用する人々の用途の幅を広げてくれるような斬新的なデザインとなっています。

この施設の運営も特徴的であり、利用する市民の視点に立ち、より自由に、より使いやすい施設を実現するために市民交流ネットワーク「アオーレ」という市民組織が設立され、施設利用の総合受付を行うほか、施設管理や自主イベントの企画・実施や情報発信など幅広い役割を担っています。

アオーレ長岡は、日本を代表する建築家「隈研吾」氏の設計により建築され、木の温もりにあふれた自由空間という印象で、市民協働と交流の新しい拠点として多くの市民が利用する様子も拝見できました。

■ おわりに

長岡市は、ハードとソフトの両面を考慮しながら積極的に先進的なまちづくりを市民協働で推進されていて、とても興味深い視察となりました。これまでのまちづくりは郊外へ広がる傾向がありましたが、現代のまちづくりはコンパクトシティ化の流れがありますので、長岡市のまちなか型市役所を視察できて、大変参考になりました。